

令和6年度 東京の林業振興に向けた専門懇談会（第1回）

次 第

日 時 : 令和6年7月29日（月）
10時00分～12時00分
場 所 : 都庁第一本庁舎7階大会議室

1 開会

2 第一部

（1）座長選任

（2）議事

議題 東京の林業振興に向けた意見交換

（3）その他

3 第二部

（1）知事挨拶

（2）出席者紹介

（3）プレゼンターによる発表

社会情勢を踏まえたこれからの森林・林業、木材産業

株式会社 農林中金総合研究所 主任研究員 安藤範親氏

4 閉会

東京の林業振興に向けた専門懇談会 委員名簿

(五十音順・敬称略)

所属等	氏 名
国立大学法人 東京大学 名誉教授	さかい ひでお 酒井 秀夫
一般社団法人東京都木材団体連合会 会長	しょうじ よしお 庄司 良雄
認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所 理事長	すずき あつこ 鈴木 敦子
国立大学法人 東京大学 特任准教授	とくなが ゆか 徳永 友花
中島林業 代表	なかじま だいすけ 中島 大輔

東京の林業振興に向けた専門懇談会 オブザーバー

所属等	氏 名
株式会社東京チェンソーズ (ミズとうきょう林業)	いづか じゅんこ 飯塚 潤子

東京の林業振興に向けた専門懇談会 プレゼンター (基調講演)

所属等	氏 名
株式会社 農林中金総合研究所 主任研究員	あんどう のりちか 安藤 範親

東京の林業振興に向けた専門懇談会設置要綱

4 産労農森第 297 号
令和 4 年 6 月 6 日

1 目 的

東京の森林・林業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、その課題等に的確に対応していくため、早急に取り組むべき事項について、東京都の施策へ反映させることを目的に、専門家等から意見をいただく「東京の林業振興に向けた専門懇談会」（以下「懇談会」という。）を設置する。

2 聴取事項

懇談会では、次の事項について聴取を行う。

- (1) 森林・林業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、早急かつ的確に対応を図るために取り組むべき事項に関する事
- (2) 森林・林業の抱える課題を解決するために取り組むべき事項に関する事
- (3) その他、懇談会の目的を達成するために必要な事項に関する事

3 専門家等

- (1) 懇談会は、知事が別途委嘱する専門家等をもって構成する。
- (2) 知事が必要があると認める場合には、専門家等以外の者を懇談会へ出席させ、意見を聴くことができる。

4 専門家等の任期

専門家等の任期は、委嘱の日からその年度末までとする。ただし、再任を妨げない。

5 座 長

- (1) 懇談会には座長を置き、専門家等の中から互選する。
- (2) 座長は、懇談会を進行する。
- (3) 座長に事故があるとき又は座長が欠けたときは、互選された専門家等が、その職務を代理する。

6 懇談会

- (1) 懇談会は、知事が招集する。
- (2) 懇談会は、オンラインにより参加することができる。
- (3) 座長が特に必要があると認めるときは、書面の持ち回りをもって、懇談会の開催に代えることができる。
- (4) 懇談会の事務局は農林水産部森林課に置き、関係事務を行う。

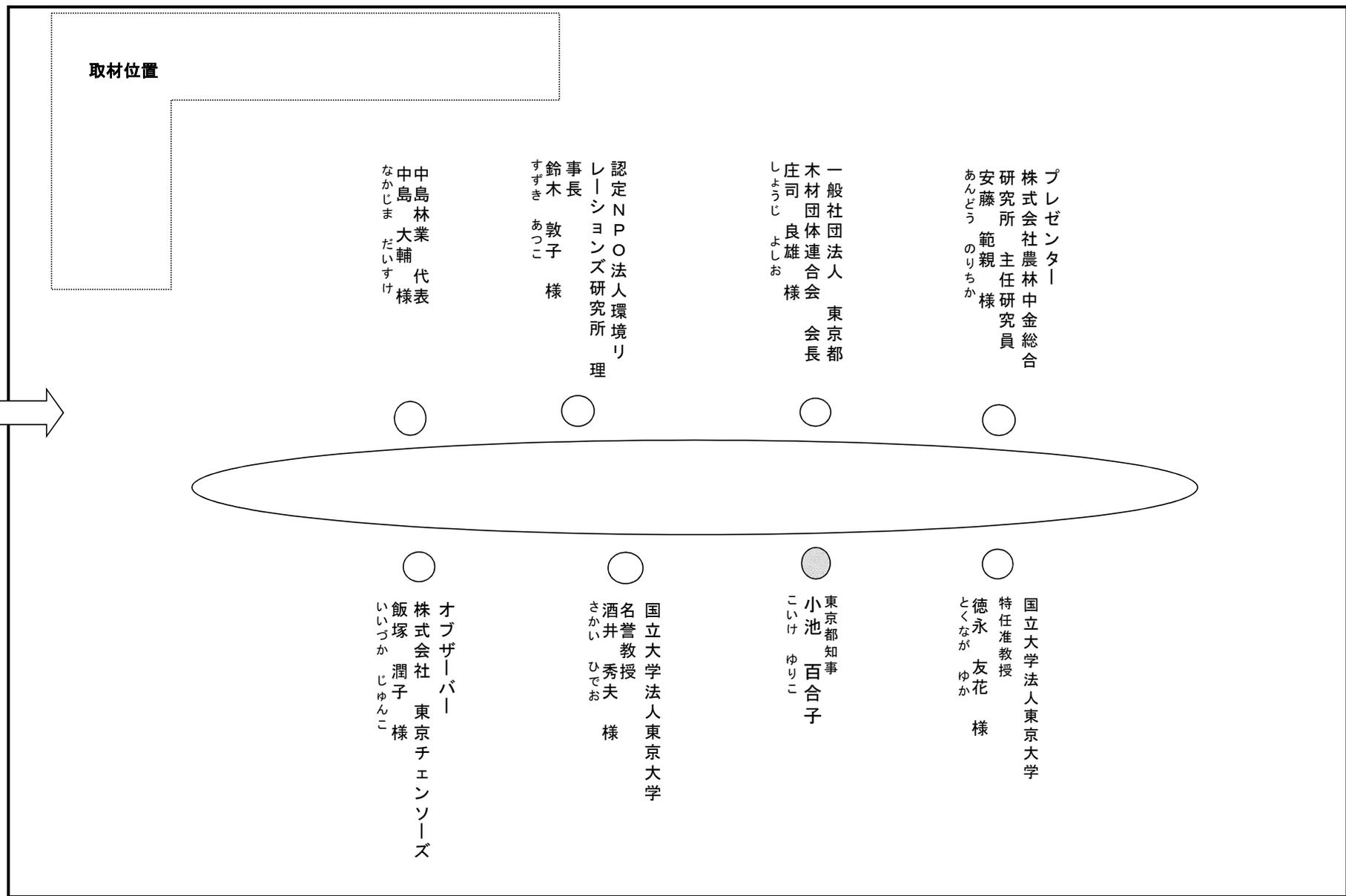
7 その他

この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関して必要な事項は必要に応じて別途定める。

附 則

この要綱は、令和 4 年 6 月 6 日から施行する。

東京の林業振興に向けた専門懇談会(第1回) 座席表



The background of the slide is a photograph of numerous logs stacked in neat rows. The logs are cut into sections, showing their circular cross-sections with distinct wood grain patterns. The logs are piled high, creating a sense of abundance and industry. A semi-transparent white rectangular box is overlaid on the upper portion of the image, containing the title text in a bold, black, sans-serif font.

東京の林業振興に向けた 専門懇談会 (第1回)

意見交換のテーマについて

1 花粉発生源対策の加速化

2 先進林業機械の導入拡大等による施業の省力化等

3 木材供給能力の強化

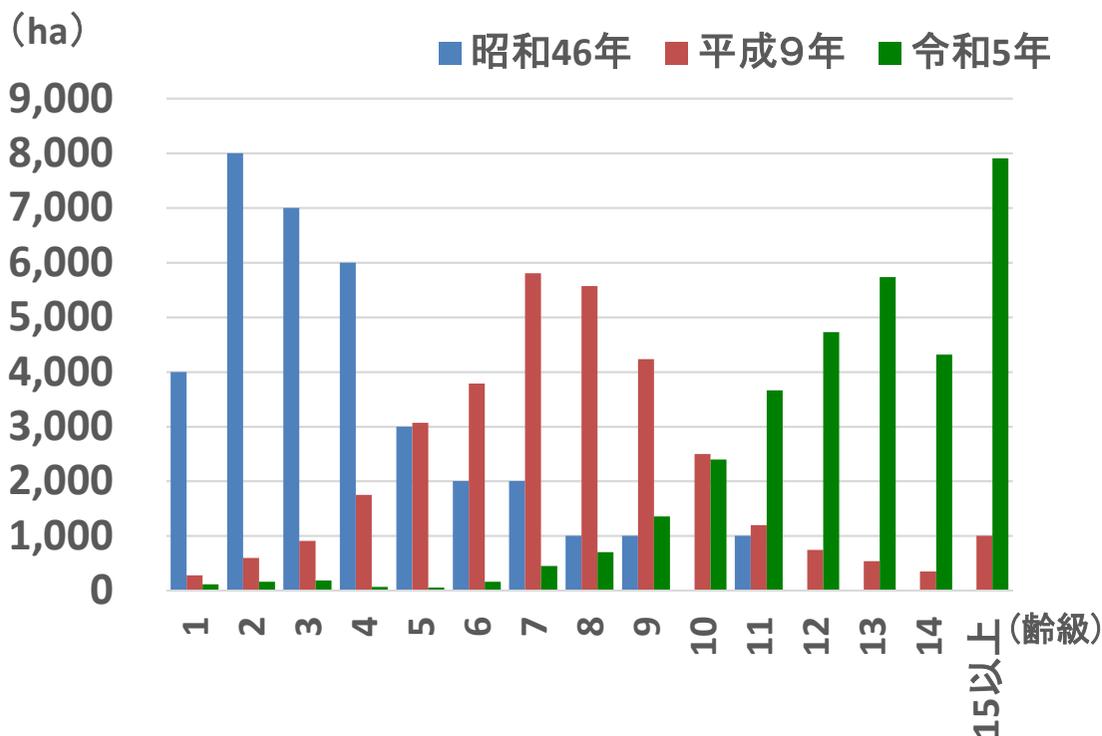
4 DXによるサプライチェーンの見える化

5 多様な主体による森林整備支援の促進

1 花粉発生源対策の加速化

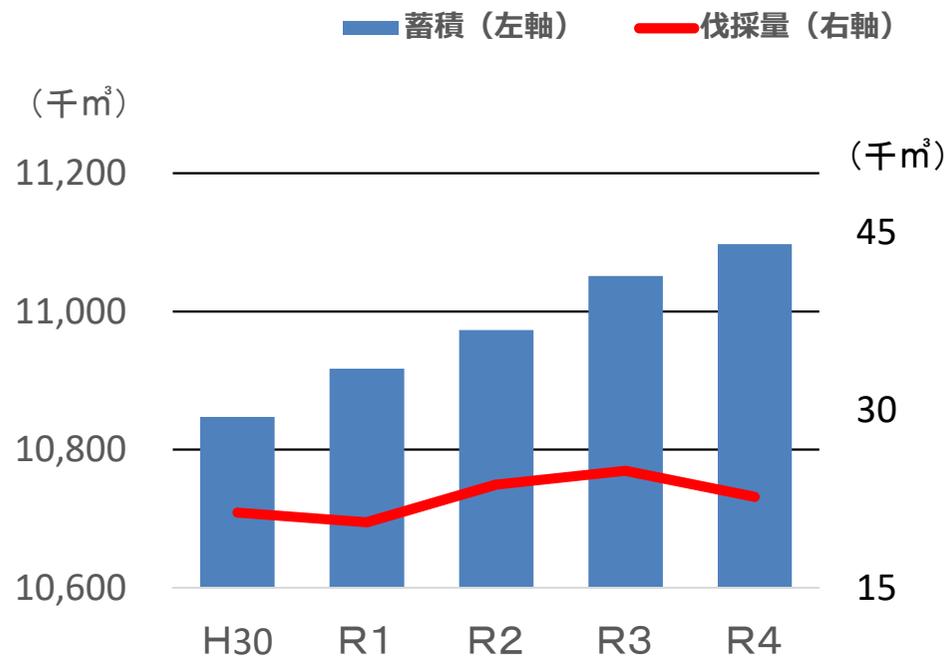
- ＜現状＞
- ・ 高度経済成長期に植林された大量のスギ・ヒノキは伐期に到達
 - ・ 伐期を迎えた人工林の蓄積が進む一方で、伐採が進んでいない

■ 齢級別人工林資源の推移（長期）



(出典：東京の森林・林業)

■ 人工林の蓄積と伐採量の推移



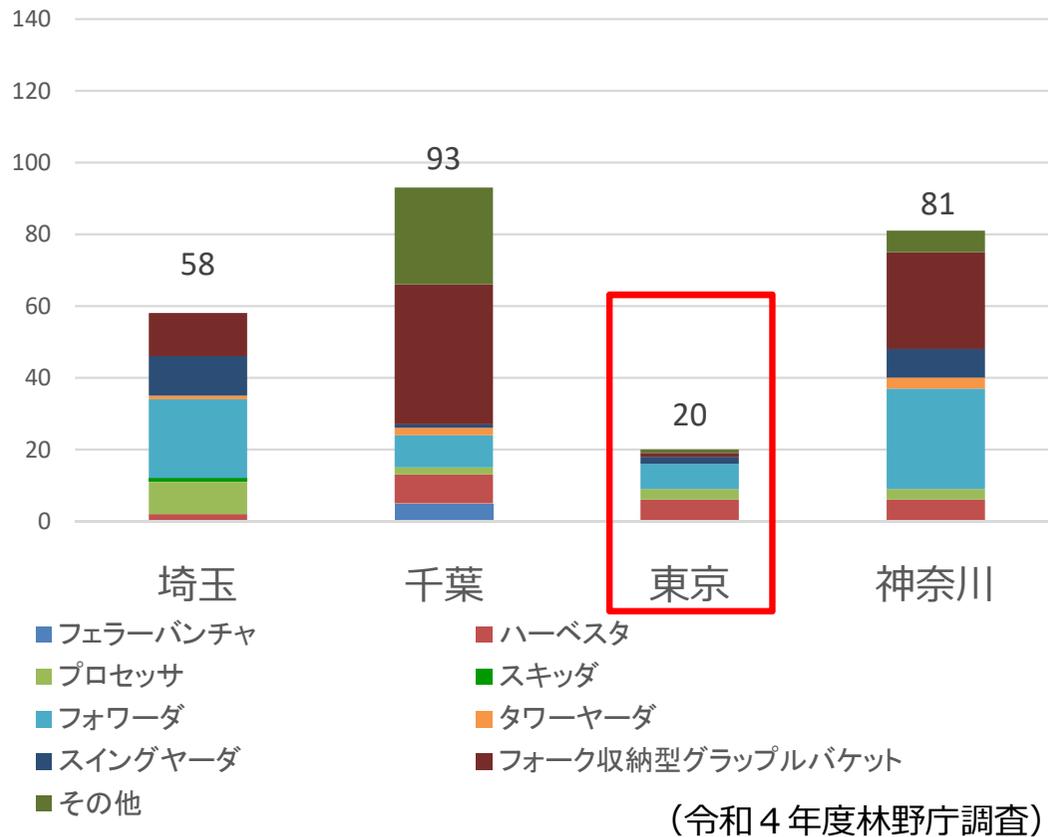
(東京の森林・林業及び多摩木原木出荷量より)

- ＜課題＞
- 伐採促進に向けた効果的な施策が必要
 - 森林所有者のより一層の協力が必要

2 先進林業機械の導入拡大等による施業の省力化等

- ＜現状＞
- ・ 伐採・搬出等に効果的な林業機械の導入が低い
 - ・ 林業機械を扱える技術者が不足

■ 高性能林業機械の保有状況（近隣県）



タワーヤーダ導入

導入された林業機械の
操作習得の研修

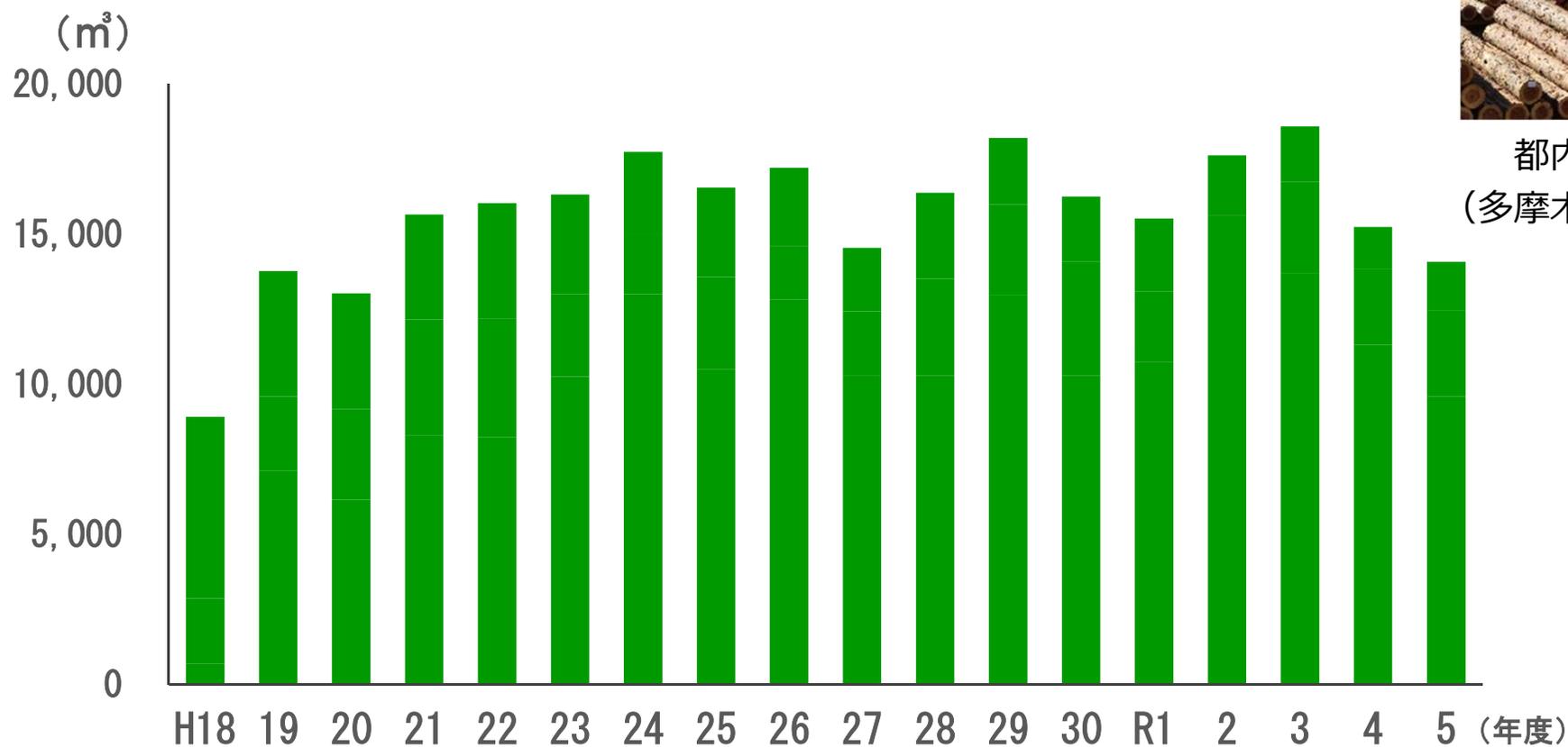


- ＜課題＞
- 安全を考慮した先進林業機械の導入等を促進
 - 技術者育成に向けた効果的な研修の展開

3 木材供給能力の強化

- <現状>
- ・ 原木市場の取引量は横ばい
 - ・ 多摩産材の取引価格は、関東 近県の県産材の中でほぼ中位

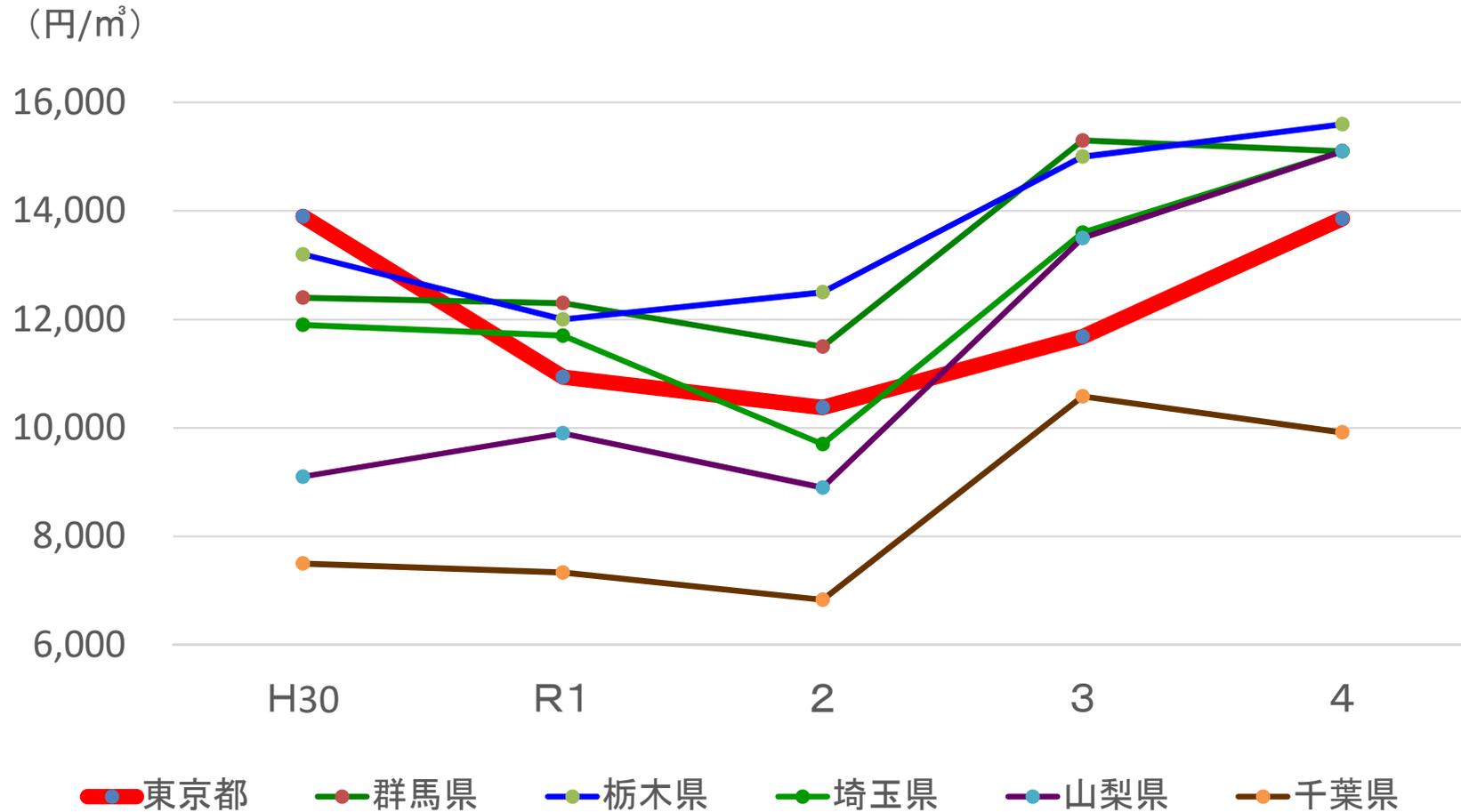
■ 多摩木材センターにおける原木取扱量推移



都内で唯一の原木市場
(多摩木材センター協同組合)

3 木材供給能力の強化

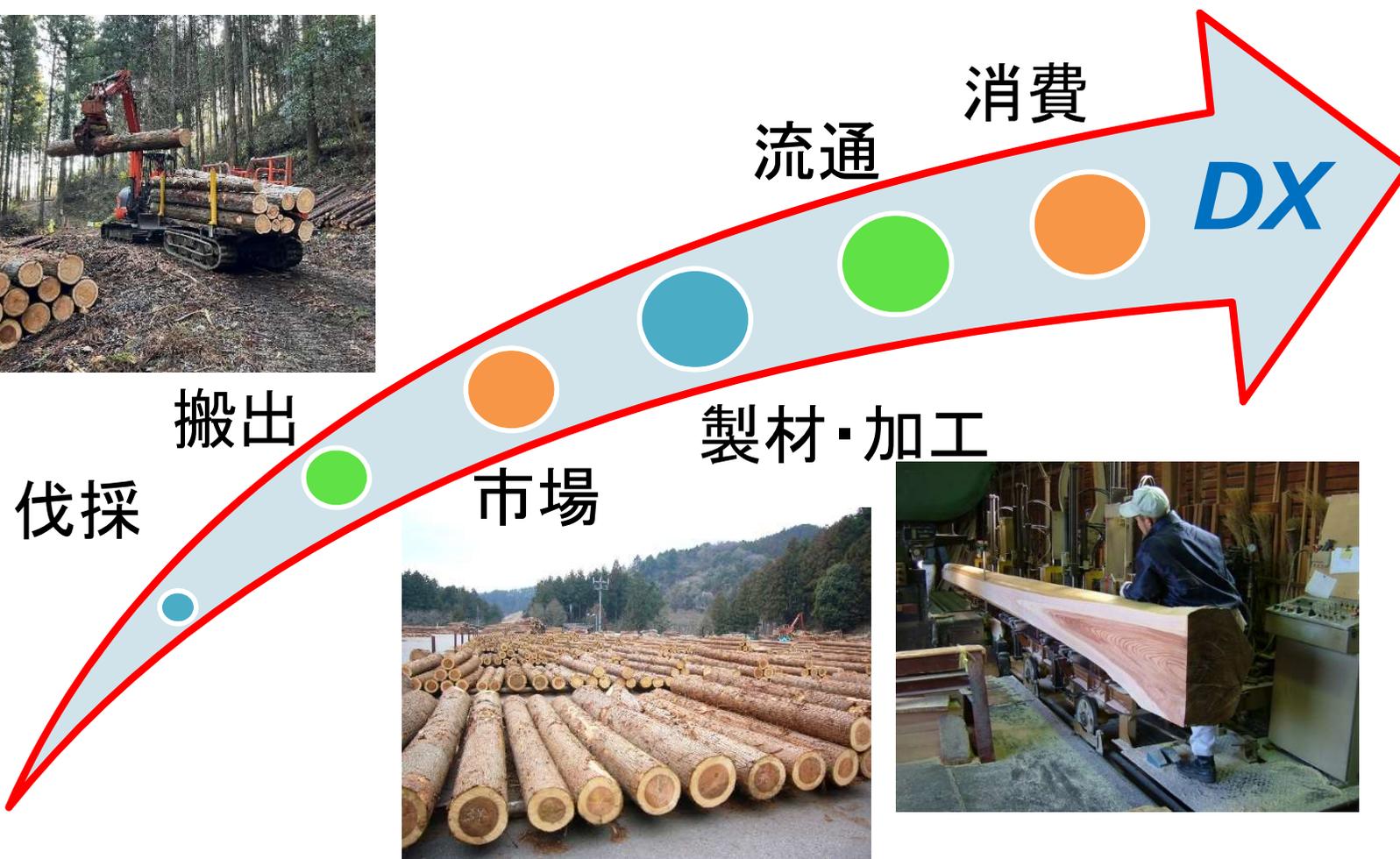
■ スギ丸太単価推移の比較



- <課題>
- 多摩産材流通拠点である原木市場の機能拡充
 - ブランドイメージの構築による高付加価値化

4 DXによるサプライチェーンの見える化

- <現状>
- 林業分野において、ドローンやレーザ計測、3次元画像など、先進技術が進みつつある



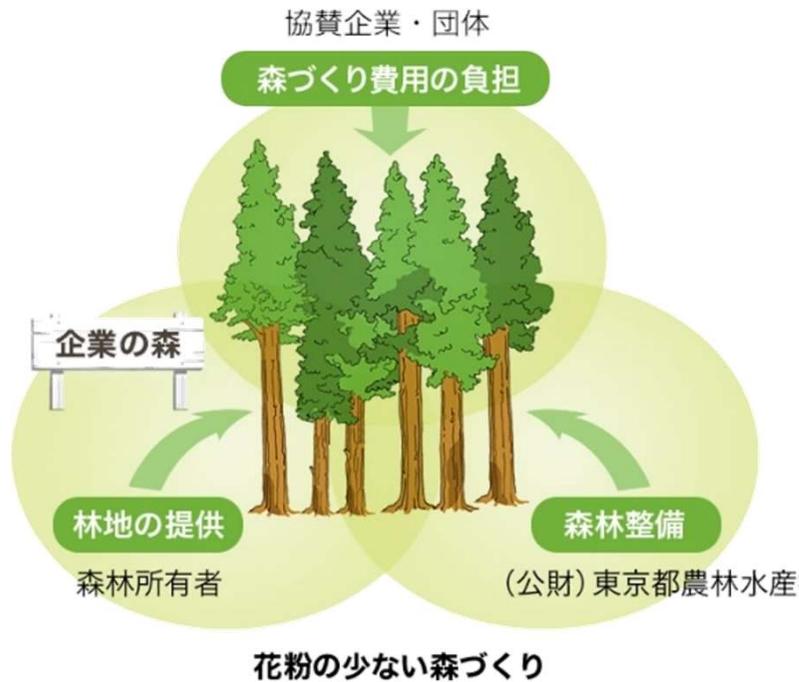
- <課題>
- 製材業者等が必要とする供給情報を収集・整理し提供
 - 伐採から消費までの情報のサプライチェーンの構築

5 多様な主体による森林整備支援の促進

- ＜現状＞
- 多摩地域と区部の自治体が連携し、森林環境譲与税を活用した森林整備等の取組を実施
 - SDGsを目指す企業等の関心の高まり



森林環境譲与税の活用に係る
都内連携に関する協定締結式
(令和5年7月31日)



企業の森



とうきょう林業サポート隊

- ＜課題＞
- 森林環境譲与税の有効活用に向けた連携強化と更なる機運醸成
 - 多様な主体や手法により森林整備を促進